

テクノエイド (上級)研修会

優良賞

まんじゅう うんまいなあ

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

鹿教湯病院 南7階病棟

山本 雅史

施設概要

- 病棟種別 : 地域包括ケア病棟 ベッド数41床
- 配置基準 : 看護師 13対1、介護職 25対1、
- 勤務体制 : 2交代制
- リハビリ : 週5日 (20～60分/1回)
- 地域包括ケア病棟とは、急性期医療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受け入れ並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟。

事例概要と課題


手術後廃用症候群でリハビリ目的で転院。

- 前医では床上リハビリのみ実施、覚醒にムラがある。
- 食事はチルト型車椅子で全介助だが、食事摂取量は不安定。
- 声をかけると自身で体を横に向けることはできるが、下肢の痛みが強い。
- 股関節が硬く、骨盤をしっかりと起こして座ることが難しく、車椅子乗車時に姿勢が崩れやすい。
- ケアの介入に強い拒否があり、興奮してしまうことが見られる。

課題に対する対策

利用者が苦痛なく、安心して車椅子に移乗介助できる方法の検討。

本人の気持ちや精神の状態に合わせた支援の方法の検討。

- 
1. 電動ベッドのギャッチ機能を使った起き上がり。
 2. トランスファーボードを使用し、介助者二人で移乗介助。
 3. 移乗時は介助者に介助ベルトを装着し、つかまる場所を確保。
 4. 本人のペースに合わせた介入に重点を置いたケア。

対策実施後の結果

●介入10日程

- ・立位を介した移乗が可能
- ・離床機会が増え、言葉数も増加



●介入20日

- ・食事の前半は自力摂取可能
- ・集団レク活動に参加し、表情も豊かに



●介入1ヶ月以降

- ・車椅子を普通型に変更、軽く支える程度で移乗可能
- ・立位安定し、日中は尿意を訴えトイレに移動
- ・朝の集団体操が日課になる

家族から差し入れの、大好きな「まんじゅう」を半年ぶりに食べて
…「まんじゅう、うんまいなあ」